

令和 7 年度 国語科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

国語	3年	教科書名（出版社）	現代の国語 3（三省堂）中学書写一・二・三年（光村図書）
		副教材	学習漢字ノート三年（浜島書店） 積み上げ（明治図書） まんがで理解楽しい文法（東京法令） 国語のワーク 3（光村教育図書） 模擬トレ 5（正進社）

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。【知識・技能】
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。【思考力・表現力・判断力】
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合うことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

教科書を活用し、生徒との対話形式で進めていく。

○思考力・判断力・表現力の高め方

自分の考えや感想を言葉にして表現する機会（話し合い活動・発表）を多くもつ。

○望ましい家庭学習

日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。

e ライブラリを活用して復習をする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…定期考査前に学習教室の実施
- ・タブレットの活用…e ライブラリを活用して学習（予習・復習）を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
一学期	世界はうつくしいと（1）	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)→詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック
	握手(4)	握手 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	<思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック
	漢字に親しもう1	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)	<主体的に学習に取り組む態度> 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。
	[聞く](1) 意見を聞き、適切さを判断する	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。
	文法「走って」いるのは誰？ 文法1 文法を生かす（1）	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ)	
	説得力のある構成 スピーチで心を動かす（3）	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	
	相手や場に応じた言葉遣い(1)	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ)	
	学びて時に之を習ふ——「論語」から漢文の訓読(2)	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	
	作られた「物語」を超えて（3）	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	
	思考のレッスン 具体化・抽象化(1)	2 視野を広げて 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	
	論理の展開を意識して書こう		

グラフを基に小論文を書く（４） 漢字Ⅰ 熟語の読み方 漢字に親しもう２（Ⅰ） ３ 言葉とともに 俳句の可能性 「書く」俳句の創作教室 俳句を味わう（４）（読②書②） 言葉の釣り糸を垂らす（２） 言葉Ⅱ 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化（Ⅰ） 情報×SDGs 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう（２）（読①書①） 情報整理のレッスン 情報の信頼性（Ⅰ） ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができ いつも本はそばに 読書を楽しむ（Ⅰ） 読書案内 本の世界を広げよう コラム ためになるってどんなこと？（Ⅰ）		【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。（C(Ⅰ)ア） 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア） 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。（B(Ⅰ)ア） ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。（B(Ⅰ)イ） 【知・技】第２学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。（(Ⅰ)ア） ３ 言葉とともに 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(Ⅰ)イ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。（C(Ⅰ)ウ） ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。（B(Ⅰ)ウ） 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(Ⅰ)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。（C(Ⅰ)イ） 【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(Ⅰ)イ） ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。（(3)ウ） 情報×SDGs 【知・技】 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。（(Ⅰ)ウ） ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。（C(Ⅰ)ア） ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。（C(Ⅰ)イ） ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。（B(Ⅰ)ア）	
--	--	--	--

		【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ((2)イ) いつも本はそばに 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	
二学期	挨拶 ——原爆の写真によせて(2) 故郷(5) 【推敲】論理の展開を整える(2) 言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語(1) 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る(1) 漢字2 漢字の造語力(1) 5 自らの考えを 複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う(3) 考えを効果的に伝えよう	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) →文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ) 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) 5 自らの考えを 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック <主体的に学習に取り組む態度> 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。 ・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。

	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4 (1) 〔話し合い (進行)〕 話し合いを効果的に進めよう (1) 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く (4) いつも本はそばに 本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう (1)	(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) いつも本はそばに 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	
三学期	温かいスープ (2) アラスカとの出会い (2) 律儀な桜 (1) わたしを束ねないで (1) 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする (5) (話聞①書④)	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト ・ノートチェック ・プリントチェック <主体的に学習に取り組む態度> 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。 ・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。

	漢字に親しもう 5 (2) 学びを深める 国語の力試し (3)	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	
・書写 (年間 10 時間程度)			
1学期	全国文字マップ (2) 文字の使い分け (1)	〈知識・技能〉今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 〈思考・判断・表現〉3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	
2学期	三年間のまとめ (2) 私の好きな言葉 (2) 書き初め指導 (4) 季節のしおり (1)	〈知識・技能〉今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 〈思考・判断・表現〉3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	

令和 7 年度 社会科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

社会に対する関心を高め、多くの情報・資料から考えをめぐらせ、日本の歴史や現代社会について理解する。国土への愛情を深め、国際社会で生きるための平和で民主的な国家・社会の一員としての必要な教養を身に付ける。

2 指定教科書

社会	3 年	教科書名（出版社）	中学社会歴史（教育出版）／新しい社会 公民（東京書籍）
		副教材	みつけよう？と！歴史資料（東京法令出版）／ビジュアル公民（東京法令出版）／3 観点評価チェック 15 分（明治図書）／東京都 B E S T 社会（新学社）

3 学習到達目標

- ・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・授業プリントやパワーポイント資料を活用し、単元に関連する資料を提示したり身近な事象を用いたりするなどして、学習のイメージがわくようにする。
- ・学習課題やねらいに対して、資料やグラフ、既習の内容を活用して考える。
- ・自分の考えや導きだした答えを伝えたり、答えを導き出す過程で他の意見を聞いたりしながら理解を深める。

○タブレットの活用

- ・個人の意見の集約を行う際やグループでの意見交換を行う際などにクロームブックを活用する場面を設ける。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・単元テスト、単元レポート、提出物（ノート、長期休業中の宿題など）

○単元テストについて

- ・単元の終わりに 15 分のテストを行う。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
I 学期	【歴史的分野】 第5章：日本の近代化と国際社会（4） 近代産業を支えた糸と鉄／工業化のかげで／西洋文化と伝統文化 第6章 二度の世界大戦と日本（21） ・第一次世界大戦と民族独立の動き（5） 1 クリスマスまでには帰れるさ 2 パンと平和、民主主義を求めて 3 成金の出現 4 不戦の誓い 5 わきあがる独立の声 ・大正デモクラシー（4） 1 憲政の本義を説いて 2 デモクラシーのうねり 3 モボ・モガの登場 4 学習のまとめ ・恐慌から戦争へ（5） 1 独裁者の出現 2 日本を襲う不景気 3 満州は日本の生命線 4 「話せばわかる」 5 ぜいたくは敵だ ・第二次世界大戦と日本の敗戦（5） 1 枢軸国と連合国の戦い 2 米・英への宣戦布告 3 欲しがりません勝つまでは 4 軍国主義の敗北 5 学習のまとめ 第7章：現代の日本と世界（14） ・日本の民主化と冷戦（3） 1 敗戦からの再出発 2 平和国家を目ざして／冷たい戦争の始まり 3 独立の回復 ・世界の多極化と日本（4） 1 自主・独立・平和を求めて 2 国際関係の変化 3 高度経済成長の光とかげ 4 わが家にテレビがやってきた ・冷戦の終結とこれからの日本（5） 1 民主化のうねりと国際社会の変化 2 泡のようにふくらむ経済 3 現代の大観 4 私たちの生きる時代へ 5 構想の学習	<知識・技能> 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について理解することができる。 <思考・判断・表現> 近現代の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 <知識・技能> ・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 <思考・判断・表現> ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・技能> 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 <思考・判断・表現> 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物

1 学期	4 章 私たちの暮らしと経済 (26) 1 節 消費生活と市場経済(6) 導入の活動 コンビニエンスストアの経営者になってみよう 1 私たちの消費生活 2 契約と消費生活 3 消費者の権利を守るために 契約のあれこれ 4 消費生活を支える流通 2 節 生産と労働 (5) 1 生産活動と企業 2 企業の種類 3 株式会社の仕組み 4 労働の意義と労働者の権利 5 労働環境の変化と課題 3 節 市場経済の仕組みと金融 (6) 1 市場経済と価格の決め方 2 価格の働き 3 貨幣の役割と金融 4 私たちの生活と金融機関 5 景気と金融政策 6 グローバル経済と金融 4 節 財政と国民の福祉 (4) 1 私たちの生活と財政 2 財政の役割と課題 3 社会保障の仕組み 4 少子高齢化と財政 5 節 これからの経済と社会 (3) 1 公害の防止と環境の保全 2 経済の持続可能性と真の豊かさ コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう	4 章 私たちの暮らしと経済 <知識・技能> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の分配について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 <思考・判断・表現> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物
2 学期	1 章 現代社会と私たち (15) 1 節 現代社会の特色と私たち (5) 1 T 市のまちの様子から現代社会をながめてみよう 2 持続可能な社会に向けて 3 グローバル化 結び付きを深める世界 4 少子高齢化 変わる人口構成と家族 5 情報化 情報が変わる社会の仕組み 2 節 私たちの生活と文化 (3) 1 私たちの生活と文化の役割 2 伝統文化と新たな文化の創造 3 多文化共生を目指して 3 節 現代社会の見方や考え方 (5) 1 社会集団の中で生きる私たち 2 決まりを作る目的と方法 3 効率と公正 4 決まりの評価と見直し まとめの活動 T 市の自転車の使用ルールを考えよう 2 章 個人の尊重と日本国憲法 (17) 1 節 人権と日本国憲法 (6) 導入の活動 ちがいのちがい 1 人権の歴史と憲法 2 日本国憲法とは 3 国民主権と私たちの責任 4 平和主義の意義と日本の役割 5 基本的人権と個人の尊重 2 節 人権と共生社会 (6) 1 2 平等権①② 共生社会を目指して	1 章 現代社会と私たち <知識・技能> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 <思考・判断・表現> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 2 章 個人の尊重と日本国憲法 <知識・技能> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート

	3 自由権 自由に生きる権利 4 社会権 豊かに生きる権利 5 人権を確実に保障するための権利 6 「公共の福祉」と国民の義務 3節 これからの人権保障（3） 1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権 2 新しい人権② 情報化の進展と人権 3 グローバル社会と人権 3章 現代の民主政治と社会（22） 1節 現代の民主政治（5） 1 政治と民主主義 2 選挙の意義と仕組み 3 政党の役割 4 マスメディアと世論 5 選挙の課題の政治参加 選挙の流れ 2節 国の政治の仕組み（10） 1 国会の地位と仕組み 2 法律や予算ができるまで 3 行政を監視する国会 4 行政の仕組みと内閣 5 行政の役割と行政改革 6 裁判所の仕組みと働き 7 裁判の種類と人権 8 裁判員制度と司法制度改革 9 三権の抑制と均衡 模擬裁判をやってみよう 3節 地方自治と私たち（5） 1 私たちの生活と地方自治 2 地方自治の仕組み 3 地方公共団体の課題 4 住民参加の拡大と私たち 政治参加をしてみよう	<思考・判断・表現> ・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 3章 現代の民主政治と社会 <知識・技能> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ・国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 <思考・判断・表現> ・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	・提出物 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物
3 学期	5章 地球社会と私たち（16） 1節 国際社会の仕組み（5） 1 国際社会における国家 2 領土をめぐる問題の現状 問題の解決に向けて 3 国際連合の仕組みと役割 4 地域主義の動き 5 新興国の台頭と経済格差 2節 さまざまな国際問題（5） 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮 3 貧困問題 公正な世界を創る 4 新しい戦争 平和な世界に向けて 5 難民問題 3節 これからの地球社会と日本（4） 1 世界と協力する日本 2 より良い地球社会を目指して はちみつの争い パレスチナ問題と中東和平 終章 より良い社会を目指して（5） 1 持続可能な社会の形成者として 2 持続可能な社会を実現するために 3 探究を続ける	<知識・技能> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ・地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 <思考・判断・表現> ・対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 <知識・技能> ・持続可能な社会を実現するためには，さまざまな社会の課題を解決することが必要であることを理解している。 <思考・判断・表現> ・社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物

令和 7 年度 数学科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数 学	3 年	教科書名（出版社）	新編 新しい数学 3（東京書籍）
		副教材	数学 リポート学習 3（正進社）

3 学習到達目標

- ・平方根と多項式、二次方程式、図形の相似と円周角・中心角、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・拡張した範囲の数の性質や計算について考察する力、文字を用いて数量の関係や法則を表現する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目して式・表・グラフと相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定したり適切な調査方法を判断したりする力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。
【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・教科書に沿って講義形式で進めていく。

○タブレットの活用

- ・演習プリントの問題と答えの提示、講義スライドの提示などに活用する。
- ・e ライブラリーを家庭学習に活用して予習と復習を行う。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

章末レポート・提出物（ワーク、長期休業中の宿題など）・学習カード・単元テスト（単元ごと）

○単元テストについて

単元の終わりに行います。

○その他のポイント

学習カードの評価は、単元の理解の深さを評価しています。まとめの項目を深く具体的に書きましょう。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	1 章 多項式(20) 1 節 多項式の計算(8) 2 節 因数分解(6) 3 節 式の計算の利用(4) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・単項式と多項式に関する乗法と除法の計算ができる。 ・公式を用いて簡単な式の展開や因数分解、計算をすることができる。 <思考・判断・表現> ・公式を用いて複雑な式の計算や因数分解をすることができる。 ・公式を用いて工夫して数の計算ができる。 ・図形の性質や数の性質を、文字式を用いて説明できる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	2 章 平方根(17) 1 節 平方根(6) 2 節 根号をふくむ式の計算(8) 3 節 平方根の利用(1) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・数の平方根の必要性和意味を理解している。 ・有理数、無理数の意味を理解している。 ・根号を含んだ数を変形できる。 ・分配法則や乗法公式を利用して、根号をふくむ式の計算ができる。 <思考・判断・表現> ・根号をふくんだ複雑な式の計算や式の値を求めることができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用して問題を解くことができる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	3 章 2 次方程式(16) 1 節 2 次方程式とその解き方(10)	<知識・技能> ・2 次方程式とその解の意味を理解している。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト
2 学期	2 節 2 次方程式の利用(4) 章末問題・まとめ(2)	・平方の形に変形し 2 次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて 2 次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して 2 次方程式を解くことができる。 <思考・判断・表現> ・いろいろな形の 2 次方程式が解ける。 ・事象の中の数量関係に着目し、2 次方程式を活用して問題を解決することができる。	・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	4 章 関数 $y = ax^2$ (18) 1 節 関数 $y = ax^2$ (3) 2 節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方(8) 3 節 いろいろな関数の利用(5) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・関数 $y = ax^2$ の性質を理解している。 ・表、式、グラフを用いて関数 $y = ax^2$ の特徴を表すことができる。 ・いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。 <思考・判断・表現> ・1 次関数との違いを表・式・グラフで表現できる。 ・関数 $y = ax^2$ の性質を活用してあらゆる問題を解くことができる。 ・放物線と直線に関する問題が解ける。 ・いろいろな関数の性質を見いだして問題が解ける。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	5 章 相似な図形(24) 1 節 相似な図形(9) 2 節 平行線と比(8) 3 節 相似な図形の面積と体積(5) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・相似の意味、三角形の相似条件について理解している。 ・相似の位置や中心について理解し、相似の位置にある図形が作図できる。 ・平行線と比の性質を用いて線分の長さを求めることができる。 ・相似な図形の相似比と面積比・体積比の関係について理解している。 ・誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。 <思考・判断・表現> ・三角形の相似条件や中点連結定理を利用して、図形の性質を証明できる。 ・相似な図形の性質を活用してあらゆる問題を解決できる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察

令和 7 年度 理科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・自然の事物・現象に進んで関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 指定教科書

理 科	3 年	教科書名（出版社）	新しい科学 3（東京書籍）
		副教材	理科の自主学習 3 年、作図・計算トレーニング、中学理科ノート、これで！完べき理科

3 学習到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・1 単位時間ごとのねらいや学習活動を明確にして進める。
- ・「単元 1」「単元 3」「単元 5 (第 3 章、終章)」…指導者 A
「単元 2」「単元 4」「単元 5 (第 1 章、第 2 章)」…指導者 B
を並行して進める。A を週あたり 2 時間、B を週あたり 2 時間で進める。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・質問について問題や課題なども含めて、自分の考え（仮の答えをもつ）ということ意識させる。
- ・実験や観察では学習内容と結果のつながりを考察して、論理立てて結論を出すという習慣を身に付けさせる。

○タブレットの活用

- ・教科書に付属している映像やシミュレーションソフトなどのデジタルコンテンツなどを積極的に利用することで、学習意欲をより刺激する資料の紹介や実際に操作することができるソフトの活用につなげることができる。
- ・個人で考えた内容を表現したり、他人と意見を共有するための意見交換・議論の場として、端末を活用することができる。多くの意見から、有用で信憑性の高い情報などを抜き出すための練習にもなる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・レポート、提出物（ワーク、長期休業中の宿題など）、理科ノートの取り組み、単元テスト（章単元ごと）。

○単元テストについて

- ・章単元ごとに行い、1 単元当たり 1、2 回程度行う。時間は 1 回あたり 15～30 分程度で行う。

○その他のポイント

- ・課題レポートを作成する。ICT などを利用することで情報の精査と考察をし、最終的に自分の考えを表現する課題を作る（思考・判断・表現）（主体的な学び）。

7 年間指導・評価計画

指導者 A

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	単元 1 化学変化とイオン 第 1 章 水溶液とイオン(8) 第 2 章 酸、アルカリとイオン(9) 第 3 章 化学変化と電池(10)	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思)	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○課題に対する取り組み状況 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○課題に対する結論や考察内容 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の) 課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
2 学期	単元 3 運動とエネルギー 第 1 章 物体の運動(10) 第 2 章 力のはたらき方(8) 第 3 章 エネルギーと仕事(12)	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○課題に対する取り組み状況 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○課題に対する結論や考察内容 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の) 課題に対する取組状況

		技能を身につけている。(知) 運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返るなど、科学的に探究している。(思) 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返るなど、科学的に探究している。(思) 力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返るなど、科学的に探究している。(思)	○授業への取組状況
3 学期	単元 5 地球と私たちの未来のために 第 3 章 科学技術と人間(7) 終章 持続可能な社会をつくるために(6)	日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。(知) 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。(思) 資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。(思)	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○課題に対する取り組み状況 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○課題に対する結論や考察内容 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の) 課題に対する取組状況 ○授業への取組状況

指導者 B

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	単元 2 生命の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖(10) 第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子(9) 第 3 章 生物の多様性と進化(6)	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○課題に対する取り組み状況 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○課題に対する結論や考察内容 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の) 課題に対する取組状況 ○授業への取組状況

		返るなど、科学的に探究している。(思) 遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思)	
2 学期	単元 4 地球と宇宙 プロローグ 星空をながめよう(2) 第 1 章 地球の運動と天体の動き(10) 第 2 章 月と金星の見え方(7) 第 3 章 宇宙の広がり(5)	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思) 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。(思)	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○課題に対する取り組み状況 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○課題に対する結論や考察内容 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
3 学期	単元 5 地球と私たちの未来のために 第 1 章 自然のなかの生物(6) 第 2 章 自然環境の調査と保全(8) 地域とつながる	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録	知識・技能 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○地球に起こる問題の調査とそれに対する課題への調査 ○授業への取り組み状況 思考・判断・表現 ○定期考査、単元テストの観点別得点 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○地球規模の問題に対する自分なりの解決方法の考察と発表 ○授業への取組状況

		などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。(思) 生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。(思) 地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。(思)	主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 ○課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
--	--	---	--

令和 7 年度 音楽科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について、創意工夫を生かした実践的・体験的な活動をと
おして音楽に親しむとともに、よりよい音楽表現に必要な知識、技能を身に付ける。

2 指定教科書

音 楽	3 年	教科書名（出版社）	中学生の音楽（教育芸術社） 音楽のおくりもの（教育出版）
		副教材	マイソング 7 訂版（教育芸術社）

3 学習到達目標

- ・音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することで、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
- ・日本で長く歌われ親しまれている歌曲や日本の伝統的な音楽に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本の音楽のよさを味わい、愛着をもつ。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書、ワークシートを用いて実践的・体験的な活動を中心に行うとともに、振り返りなどを記録に残す。

○タブレットの活用

必要に応じて授業内や家庭学習に活用し、表現活動、鑑賞活動に役立たせる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に 取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・創作作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・プリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・歌唱及び器楽の実技テスト

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	オリエンテーションと声づくり（2） ・発声練習 ・校歌 ・翼をください ・空は今	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。	<知識・技能> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <思考・判断・表現> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・プリント ・授業観察
	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう（3） ・花	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう（2） ・ブルタバ（モルダウ）	（知）曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
	混声合唱の響きを味わって歌おう（4） ・大地讃頌 ・合唱コンクール自由曲	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	
2 学期	混声合唱の響きを味わって歌おう（6） ・大地讃頌 ・合唱コンクール自由曲	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
	能に親しみ、日本の伝統音楽を味わおう（2） ・能「敦盛」	（知）能の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 （思）音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
	和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくろう（5）	（知）音階や和音の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表す。 （思）まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	
	箏の音色に親しみ、さまざまな奏法を身に付けよう（5）	（知）音楽の特徴とその背景の文化や歴史との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。 （思）どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	
3 学期	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（2）	（知）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 （思）音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
	心を伝え合う合唱を求めて（4） ・その先へ ・大地讃頌 ・卒業式歌	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	

令和 7 年度 美術科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・美術作品や文化遺産など美しさや良さを感じ取ったり、制作の喜びを味わったりすることによって自分自身の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	3 年	教科書名（出版社）	日本文教出版
		副教材	・美術の表現と鑑賞＜資料集＞(秀学社) ・砂絵セット

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。
- ・主題に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的な美しさやよさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができるようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。

○タブレットの活用

- ・道具の使い方について、動画を通していつでも確認できるようにする。
- ・鑑賞の際、細部まで確認できるようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・ 作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・ アイディアスケッチ等のプリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・ 授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・ 毎授業取り組む作品制作

○その他のポイント

- ・ 補助プリントである作品管理表を使い、先を見通した作品制作の計画建て

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
I 学期	・ オリエンテーション（1） ・ 木版画(10) ・ 日本美術の鑑賞授業※修学旅行（3） ・ 西洋美術史の鑑賞授業「印象派」（3） ・	・ 形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・ 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・ 構図や色彩、線などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、日本美術の作風や印象が西洋美術からどのように影響を受けているかを理解している。 ・ 生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・ 日本美術の表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的にジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・ 作品や作家について興味を持ち意欲的に制作することができる ・ プリントやスケッチブックに自主的に話の内容をメモできる。 ・ 名画や名品などの素晴らしさを味わうことができる。 ・ 日本の文化に ・ 自主的に準備、制作、片付けができる。 ・ 構図の工夫ができる。 ・ 色彩などの工夫ができる。 ・ アイディアスケッチをもとに、細かいところまで正しく美しい線で描くことができる。 ・ 見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 ・ 自他の作品の良さや工夫に気づき、お互いを認め合える。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 定期考査、作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限

2 学期	・透視図をつかった思い出の風景画（10）	・1点透視や2点透視を楽しんで取り組むことができる。 ・遠近法に興味を持ち、意欲的に制作することができる。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。 ・構図の工夫ができる。 ・色彩などの工夫ができる。 ・アイディアスケッチをもとに、細かいところまで正しく美しい線で描くことができる。 ・見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 ・自他の作品の良さや工夫に気付き、お互いを認め合える。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限
3 学期	・砂絵（8）	・砂絵に興味をもち、意欲的に制作することができる。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。 ・イメージを考えながら、デザインを工夫することができる。 ・色砂を使って色彩の工夫ができる。 ・丁寧にデザイン(アイディアスケッチ)を描くことができる。 ・デザインのイメージ通りに美しく彩色することができる。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 定期考査、作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限

令和 7 年度 保健体育科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。また、個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 指定教科書

保健 体育	3 年	教科書名（出版社）	中学校保健体育（大日本図書）
		副教材	中学保健学習ノート 1～3 年（正進社）

3 学習到達目標

- ・運動を適切に行うことによって、体力の向上を図り、心身の調和的発達を図る態度を身に付ける。
- ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を身に付ける。
- ・健康安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を身に付ける。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・授業規律（集合、整列、号令）などを大切にし、集団での行動を常に意識し、授業に取り組む。
- ・グループ学習等の話し合い活動に取り組み、学習カードによる授業の振り返りや技能の考察を丁寧に継続する。
- ・定期テスト前には、学習カードや保健授業を振り返り、各種目、各単元のルールやポイントを復習する。

○タブレットの活用

- ・グループ学習やペア学習の中で、動作を撮影し合い、自分の動きや仲間の動きを分析できるようにする。
- ・見本の動作を事前に確認することで、技等のポイントをつかみやすくする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・学習カード（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）・スキルテスト（知識・技能）
- ・ゲーム中の動きや練習中の動きの様子（知識・技能）・仲間との関わり方、安全への配慮等の様子（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・スキルテストを各単元にて実施

○その他のポイント

- ・学習カードを用いて、知識や技術の定着を図ります。授業内容をよく振り返り、記入してください。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	体づくり運動 ・体の動きを高める運動（3） ・表現活動、集団行動（3） 陸上競技 リレー（3） ハードル（4） 砲丸投げ（3） 保健 ・健全な生活と疾病の予防（6） 水泳 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ個人メドレー（12）	自己の責任を果たす場面で、ねらいに応じた活動の仕方を身に付けている。「思考判断表現」 集団に合わせて、素早く行動することができる。 「知識・技能」 健康・安全を確保している。「思考判断表現」 特性に応じた技能を身に付けている。「知識技能」 調べたことを基にそれらを説明している。「思考判断表現」 理解したことを言ったり、書き出したりしている。「知識技能」 健康・安全を確保し、集団行動を重んじている。「思考判断表現」 特性に応じた効率的な泳法を身に付けている。「知識技能」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
2 学期	体づくり運動 ・体の動きを高める運動（4） 陸上競技 ・リレー（4） 球技（ゴール型） ・ハンドボール（12） 器械運動 ・鉄棒（6） 陸上競技 ・長距離走（6） 保健 ・健康と環境（6）	役割に応じた活動の仕方を身に付けている。「思考判断表現」 バトンパスの基本的技能を習得している。「知識技能」 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。仲間に対して課題や練習方法の選択の指摘している。 「思考判断表現」 基本的技能を習得している。「知識技能」 作戦や戦術を選んでいる。技術的な課題や有効な練習方法を指摘している。「思考判断表現」 ゲーム内で特性にあった動きをしている。「知識技能」 コーチ役としての役割を果たしている。「思考判断表現」 基本的技能を習得している。「知識・技能」 健康・安全に留意している。「思考・判断・表現」 健康・安全に留意している。集団行動を重んじている。 「思考・判断・表現」 自己に応じたペースを維持することができる。速く走ることができる。「知識技能」 調べたことを基にそれらを説明している。「知識技能」 理解したことを言ったり、書き出したりしている。「思考判断表現」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物

3 学期	球技（ネット型） ・バドミントン・卓球（１２） （ハーフコート型） ・ソフトボール（１２） 体育理論（３） 文化としてのスポーツの 意義 ・運動やスポーツが 心身の発達にあたる効 果と安全	健康・安全を確保し、作戦や戦術を選んでいる。技術的な課題や 有効な練習方法を指摘している。「思考判断表現」 基本的技能を習得している。ゲーム内で特性にあった動きをして いる。「知識技能」 必要な情報をまとめ説明している。「思考判断表現」 理解したことを言ったり書き出ししたりしている。「知識技能」	<知識・技能> 観察 記録 スキルテスト <思考・判断・表現> 授業観察 自習課題 学習カード <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
------	--	--	---

令和 7 年度 技術科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

日常生活で活用している技術を理解し、自分の身の回りにある問題に気づき、解決する力を育むため、今年度は材料と加工の技術による問題解決、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツおよび計測・制御による問題を解決する力と技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 指定教科書

技術科	3年	教科書名(出版社)	技術・家庭 技術分野 開隆堂
		副教材	Microbit、チャットボット制作

3 学習到達目標

- ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。
- ・生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。

4 学習の進め方

・授業の進め方

教科書、ワークシートを用いた授業を行う。

・思考力・判断力・表現力の育成方法

ワークシートに、自分の考えを記入し、課題によっては周りの人と話し合いの時間を設ける。

他の人の考えを確認することで、自分の考えを深めていく。

・望ましい家庭学習

授業の中で課題を提示するので、家庭生活の中で考える。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、遅れを感じる生徒には必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 必要に応じて授業の中で使用する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラムによる問題解決(6) ・双方向性のあるコンテンツ ・問題の発見と課題の設定 ・コンテンツの構想 ・コンテンツのプログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正	「知識・技能」 ・情報を利用するための基本的な仕組みを理解できる。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・プログラミングによる解決策を構想し、考察している。 ・問題を見出して課題を設定している。 ・改善・修正できる。 「知識・技能」 ・鑄造の作業手順について理解できる。 ・金属の加工方法について理解できる。 「思考・判断・表現」 ・安全に配慮し、手順を考えながら加工に必要な工具を利用し作業を行うことができる。 ・金属の特性を知り、特性に合った加工法を理解できる。	<知識・技能> 作品 ワークシート 定期考査 <思考力・判断力・表現力> ワークシート、定期考査 <主体的に学習に取り組む態度> 作品 行動記録 ワークシート
2 学期	計測制御による問題解決(7) ・計測・制御の仕組みの理解 ・問題の発見と課題の設定 ・構想の決定 ・プログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正	「知識・技能」 ・情報を利用するための基本的な仕組みを理解できる。 ・計測・制御によるプログラミングについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・プログラミングによる解決策を構想し、考察している。 ・問題を見出して課題を設定している。	
3 学期	計測制御による問題解決(3) ・プログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正	「知識・技能」 ・情報を利用するための基本的な仕組みを理解できる。 ・計測・制御によるプログラミングについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・プログラミングによる解決策を構想し、考察している。 ・問題を見出して課題を設定している。	

令和 7 年度 家庭科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。

2 指定教科書

家庭科	3年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
		副教材	ワークノート 消費生活・環境（地域教材社） マイクロファイバークリーナー（スタイリッシュ）

3 学習到達目標

- ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【知識・技能】
- ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】
- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

本時のねらいを明確にし、見通しをもたせた授業展開とする。デジタル教材、視覚的資料を用いて、基礎・基本の定着を目指す。実習では、安全に取り組むことが大切であり、実生活において活用できる力を身に付ける。

○思考力・判断力・表現力

ワークシートに、自分の考えを記入した後、周りの人と話し合いをする時間を設ける。他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めていく。

○望ましい家庭学習

授業での学びを自分の生活の中で活用し、よりよい生活の実現を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・ワークシート（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費（1） 消費生活のしくみ、家庭生活における収入と支出 2 購入・支払いと生活情報（4） ・いろいろな購入方法、 -売買契約- ・いろいろな支払い方法	〈知識・技能〉 ・消費生活のしくみを理解している。 ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み（三者間契約）について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・物資・サービスの選択・購入について、問題を見いだして課題を設定している。実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	〈知識・技能〉 定期考査 作品 ワークシート 授業観察 〈思考・判断・表現〉 定期考査 作品 ワークシート 授業観察 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ワークシート 授業観察、授業への取り組み方
2 学期	3 消費者被害と消費者の自立（5） ・なくなる消費者被害 ・消費者を支えるもの ・消費者の権利と責任 4 持続可能な社会（4） ・マイクロファイバークリーナーの製作	〈知識・技能〉 ・消費者被害の現状と背景について理解している。 ・悪質商法の手口と予防法について理解している。 ・消費者を支える支援やしぐみについて理解している。 ・消費者の8つの権利と5つの責任について理解している。 〈思考・判断・表現〉 ・消費者被害と消費者の自立について問題を見いだして課題を設定している。 ・消費者被害と消費者の自立について考え、工夫し実践を評価・改善し、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 〈知識・技能〉 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・資源や環境に配慮し、布を用いた物の製作計画や製作について課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3 学期	4 持続可能な社会（3） ・消費行動が社会に与える影響 ・消費行動が環境に与える影響 ・世界の国々と連体した持続可能な生活の創造へ まとめ（0.5）	〈知識・技能〉 ・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・地球で起こっている様々な環境の変化について理解している。 ・SDGsについて理解している。 〈思考・判断・表現〉 ・自立した消費者としての責任ある消費行動（環境に配慮した生活）について考え、工夫している。 ・今までの学習を振り返り、持続可能な社会に向けての取り組みについて考え、工夫している。暮らしの工夫について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	

令和 7 年度 英語科 第 3 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 指定教科書

英語	3 年	教科書名（出版社）	Here We GO! ENGLISH COURSE 3（光村図書）
		副教材	エイゴラボ（正進社））テストっち（正進社） 模擬トレ 5（正進社）

3 学習到達目標

- ・日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や話の概要、短い説明の要点を聞き取ることができる。
- ・日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や短い文章の概要や要点を読み取ることができる。
- ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを述べ合うことができる。
- ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを話すことができる。
- ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書をベースに「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の 4 技能 5 領域をバランスよく伸ばす活動を行う。

○タブレットの活用

デジタル教科書を活用したり、言語活動を行う際に、スライドやドキュメントなどの文書作成ソフトやプレゼンテーション作成ソフトを活用したりする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

主として話すこと [やり取り] や話すこと [発表] のパフォーマンステストを行う。

○単元テストについて

各 Unit が終わったタイミングで行う。

○その他のポイント

基本的に主体的に学習に取り組む態度は思考・判断・表現と一体的に評価し、振り返りシート等の記述内容や授業中の言語活動への取組の様子を加味する。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	Unit1 Virtual Safari Tour(10)	<知識・技能> 受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文の構文について使い方を理解し絶滅動物の記事を読んだり聞いたりできる。 <思考・判断・表現> 絶滅に瀕する動物の記事から必要な情報を読み取り, 適切に理解し, 読んだ記事について, 自分の意見を発表することができる。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Daily life1 (1) 計画を立てよう	<知識・技能> Be going to,曜日時刻を表す語句,want to 等予定や希望を表す表現や語句を理解して予定や希望を聞き取ったり質問に答えたりできる。	<思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit2 Our School Trip (10)	<知識・技能> 現在完了形の「完了」や「経験」の用法について正確に理解している。 <思考・判断・表現> 話し合いをまとめたり参加するコースを決めるために話し合い, 聞いた話をまとめたり自分の意見を伝えることができる。また要点をまとめ自分の意見を伝えようとする。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Daily life2 留守番電話 (1)	<知識・技能> 電話での特有表現,や不定詞副詞的用法,Could you~?等依頼を表す表現や語句,接続詞 if,交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解し留守電の要件や依頼内容を聞き取ったり, 返答ができる。 <思考・判断・表現> 伝言の内容を確かめ必要な情報を聞き取り相手の依頼に答えるメッセージを表現し書こうとする。	<思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit3 Lessons from Hiroshima (12)	<知識・技能> 現在完了形の「継続」, 現在完了進行形, 疑問詞+to+動詞の原形の意味・形/使い方を理解し手記を読み取ったり感想や考えを書いたりできる。 <思考・判断・表現> 手記を読みおおまかな内容を捉え, 感想や考えを整理して書ける。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Active Grammar (1)	<知識・技能> 現在完了形と現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解し実際のコミュニケーションを行うことができる。	<思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Let' s Read1 Visas for 6,000 Lives (6)	<知識・技能> 時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解し, 伝記の内容を読み取ることができる。 <思考・判断・表現> 杉原千畝の功績を知るために伝記を読み, おおまかな内容を捉え, 内容を整理して自分の言葉で説明できる。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	You Can Do It!1 (1) 学校生活について意見をまとめよう	<知識・技能> 既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに, 学校生活について意見文の内容を読み取ったり話し合ったりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 海外の中学生たちと意見交換をするために, 学校生活について書かれた意見文を読み, おおまかな内容を捉えている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Speak Up! 世界を変える若者たちをしよう (1)	<知識・技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解している。 <思考・判断・表現> 世界を変える若者たちについて知るために, 紹介動画を見て, おおまかな内容を捉えている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
2 学期	Unit4 AI Technology and Language (10)	<知識・技能> 関係代名詞 which, who, that が主語となる構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> ・投稿文から, それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 ・読んだ投稿文について, 感想や自分の意見を理由や例とともに書くことができる。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト

	Let' s read2 Living with Robots (5)	<知識・技能> ・関係代名詞や受け身の文, let/help+人+動詞の原形, It is ~ (for 人)+to+動詞の原形などの構文について正確に理解している。 ・説明文を読んで内容を理解することができる。 <思考・判断・表現> ・新しい技術やロボットと人間との関係について考えるために、説明文を読み、要点を捉えている。説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	<思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Daily life3 レシピ (1)	<知識・技能> ・調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解している。 ・<思考・判断・表現>ハロウィンの伝統菓子の調理のしかたを知るために、レシピから、必要な情報を読み取っている。	
	Unit5 My Dreams for the Future (10)	<知識・技能> ・関係代名詞 which, that が目的語となる文や後置修飾について理解している。 <思考・判断・表現> ・プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 ・読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。	
	Daily Life4 講演 (1)	<知識・技能> ・環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きの理解をもとに、海洋プラスチックごみの問題への取り組みについての講演の内容を聞き取る技能を身につけている <思考・判断・表現> ・講演の話題や話し手の伝えたいことを知るために、講演を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	
	Unit6 The Chorus Contest (10)	<知識・技能> ・動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> ・旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	
	Active Grammar2 後置修飾 (2)	<知識・技能> ・後置修飾の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。	
	You Can Do It! 2 持続可能な社会に向けて レポートしよう (3)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 ・既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、持続可能な社会に向けた取り組みについてのレポートの内容を読み取ったり、自分が身の回りで取り組める活動をレポートに書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・世界の 10 代の若者による持続可能な社会に向けた取り組みについて知るために、2 つのレポートを読んで、要点を捉えたり、意見を書いたりする。	
3 学期	World Tour 2 If the world were a village of 100 people (3)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界の現状についての音声や動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 ・世界を 100 人の村にたとえた文章から、さまざまな情報を読み取ることができる。 <思考・判断・表現> ・世界の現状について知るために、音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えている	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit7 Tina' s Speech (8)	<知識・技能> ・If…の仮定法や間接疑問文の構文などを正確に理解している。 <思考・判断・表現> ・文章を読んで気になった部分や驚いた部分に線を引き、自分の感想や考えをもっている。 ・If I could ...や I wish I could ...の仮定法の文などについての理解をもとに、中学校 3 年間の思い出について、スピーチの内容を聞き取ったり話したりする技能を身につけている。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト

Let' s read3 Changing the World (6) Active grammer3 仮定法 (1)	<知識・技能> ・「want+人+不定詞」、「疑問詞+to+動詞の原形」、間接疑問文、If ... の仮定法などの意味や働きを理解している。 <思考・判断・表現> ・「伝説のスピーチ」でセヴァンさんが聴衆に訴えかけたことを知るために、スピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。 <知識・技能>・仮定法の意味・形・使い方を理解している。 <技能>・仮定法を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
Unit8 Goodbye, Tina (8)	<知識・技能> ・I wish...の仮定法の構文について正確に理解している。 <思考・判断・表現> ・自分が手紙を書くときの参考にするために、登場人物が大切な人に宛てて書いた手紙を読み、書き手が伝えたい気持ちを読み取っている。 ・大切な人に感謝の気持ちを伝えるために、内容や表現を工夫して、手紙を書いている。	
You Can Do It!3 自分たちのこれからに言葉を送ろう。(1)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、「人を動かす言葉」の内容を読み取ったり、贈る言葉を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・言葉がもつ「人を動かす力」について知るために、紹介された言葉を読み、込められた思いを捉えている。	
Let' s Read More 1 Elections in Norway (2)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、選挙についての記事の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・日本とノルウェーの選挙の様子の違いを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。	
Let' s Read More 2 (3) Fight for Equality	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、人種差別に立ち向かった少女の伝記の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 人種差別に立ち向かった少女について知るために、伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。	
Let' s Read More 3 The Adventures of Tom Sawyer (3)	<知識・技能> 既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、物語の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・150年ほどの話が現代の私たちにも通じるかを確かめるために、『トム・ソーヤーの冒険』の一部を読み、おおまかな内容を捉えている。	

<その他> Performance test (18) 帯活動や Story retelling など (2)	<知識・技能>既習事項を理解し、活用することができる <思考・判断・表現>状況にあった場面に応じて適した 既習事項を判断し 表現する	
--	---	--